広島県印刷工業組合会報(毎月1日発行)



発 行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之 広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954 URL: http://www.hiroshima-pia.jp E-mail: h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



中国地区協議会 中本俊之会長挨拶

全印工連 作道孝行副会長挨拶

働き方改革の必要性の説明

災害義援金の募集

第1・2回2018印刷産業夢メッセ組織委員会開催 新常任理事紹介 明生印刷有限会社 青木 博 福山支部だより

事務局だより

『盆灯籠』で鮮やかになる広島の夏

夏になると、盆灯籠が宗派関係なく広島県西部では花屋、スーパー 及びコンビニでも販売されている。 もともとは浄土真宗本願寺派の 安芸門徒が広めた風習だと言われている。

昨年の夏、関東から遊びに来た親戚の家族が、お墓が色鮮やかに 飾られているのに「きれいだね」と言ってビックリしていた。

本来墓前灯籠というものは、お参りの基本五供の一つの灯燭の役目であり、墓所を始終照らし続けることで功徳とされている。しかし江戸時代では石灯籠は高価な物であったことは間違いなく、亡くなった娘に石灯籠を作ってあげたくてもお金が無かった親が、竹と紙で作って灯籠として飾ったのが由来とされている。その思いに共感した人々が、それを真似て次第にその地域に拡大して行った物が安芸地方名物の盆灯籠なのです。しかし、最近は火災の被害、廃棄処分の関係で「ご遠慮ください」とする寺院が増えているそうだ。

265 是JCT. fkm 高屋

平成30年7月西日本豪雨災害にあたり、 心からお見舞いを申し上げます

広島県印刷工業組合 理事長 中本 俊之

このたび今までかつてない大雨が続き、未曾有の被害を生んだ「平成30年7月西日本豪雨災害」は8府県に亘り大きな被害をもたらし、当広島県印刷工業組合組合員に於いても被災された方がおられます。この度の災害に遭われたことに対し、心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨は、被害の甚大さ、広大さ、ましては何日か後に思わぬ土石流が襲ったり、ため池の決壊の恐れ、断水等かつて経験したことのないものです。現在、中国地方で死者が177名、行方不明者が10名、3,686名を超える被災者が避難所生活を続けられておられます。猛暑の復旧作業は大変です。哀悼の意を表し、ご無事を祈り、そして、早く平穏な日々になることを願っております。

広島県印刷工業組合では、中国新聞社会事業団に義援金として寄付を行い、 広島県、広島市、日本赤十字社に寄託し、被災者支援のために、また、仲間 である組合員の皆さまに少しでもお役に立ちたいという気持ちを込めて募っ ております。

組合員は仲間です。これからの復旧の道のりは厳しいと思われますが、組合員みんなが支援しています。また、全国の人々が見守り応援しています。

一日も早い復旧と皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

"がんばろう 広島!"

平成 30 年度上期 中国地区印刷協議会開催

平成30年度上期中国地区印刷協議会が6月29日(金)午後2時00分より、周南市の「ホテルサンルート徳山」で開催され、全印工連から、作道孝行副会長、池田幸寛常務理事、土屋勝則常務理事及び池尻淳一専務理事が、また、中国五県の各工組から理事長、役員など総勢42名が出席された。

始めに、今年度新しく鳥取県工組理事長になられた田淵康成氏の紹介を行い、地元山口県の藤田理事長が、「今回はキリが良く、平成30年、しかも上期に限りますと平成最後の地区協議会です。山口県としても、今年は維新150年、さらに伊藤博文が下関の春帆



楼でふぐ料理を解禁して、これまた 130 年、関門トンネ ル開通60周年でもありますし、ついでに私も60年と。 こういう数々の重要な時期に、皆さんをこうやってお迎え できまして大変喜ばしく思います。いろいろこじつけまし たが、言ってみればこれは気分の問題です。ただしここが 大変重要なポイントで、気分が良いからといって必ずしも 良いことが起こるわけでありません、前向きでない人にま ず結果はついてはきません。そうした観点から、これから の日本はどうでしょう。来年を考えますと、まず春に天皇 陛下の退位と即位、改元があります。統一地方選と参院選 が重なる 12 年に1度の選挙イヤー、G20 首脳会議初の 議長国も控えておりますし、9月になればラグビーのワー ルドカップ日本大会が始まります。消費増税もありますが、 秋に予定されております天皇陛下即位の礼に伴うさまざま な儀式では、国全体大変な祝賀ムードに包まれると思いま す。そして再来年は遂に世界大運動会と言いますか、 2020 東京オリンピック、パラリンピックと続きます。

わずか2年余りの間に、これだけ大きな出来事が凝縮して立て続けに起こるということは、もうまず滅多にないと思います。ですから、今年の後半、まさにこれから国民の感情というのも少しずつ少しずつ高まってきて、これが経



済的にも良い上振れの効果をもたらすことが予測されるわけであります。我々もぜひとも業界を挙げて、この波に上手く乗っかって、一致団結をしながらビジネス機会の拡大を図っていかなくてはなりません。ということで、本地区協が後々から見れば、これから訪れるであろう経済の良い循環、滅多にないビッグウェーブをしっかりと捉える、そのきっかけが掴めるような、特筆すべく一日となりますよう、引き受け開催地としましての冒頭のご挨拶に代えさせていただきます」と歓迎の挨拶をされ始まった。会議次第

開会の挨拶 山口県工組 藤田良郎理事長 中国地区印刷協議会 中本俊之会長 挨拶 全印工連 作道孝行副会長 挨拶 Happy Industry の説明 同上 働き方改革の必要性の説明

全印工連
池田幸寛常務理事

全印工連事業説明 池尻淳一専務理事

議事

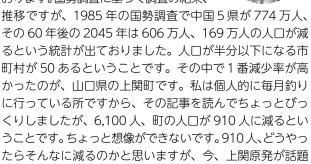
- ・平成 29 年度収支報告、平成 30 年度の予算 (案)の件報告のとおり承認
- ・平成30年度下期中国地区印刷協議会開催の件 平成31年2月15日(金)岡山市で開催を決定
- · 分科会討議
- · 分科会報告

以上を午後6時00分に終了した。

【中本俊之中地協会長挨拶要旨】

「人口減少は、印刷業だけで なく全産業に!大きな問題」

先日、中国地方5県の人口推移が出て おります。国勢調査に基づく調査の結果、



にはなっていますけれども、本当に人口が減るというのは、 ただ数字をポンと聞いておくだけではなくて、現実の話に なるのかなと思いました。

併せて、全国の生産年齢人口、これも当然減っていくわけで、2015年は7,629万人の人口が、30年後には5,353万人です。わずか30年で2,200万人減る、そういう統計も出ております。人口減少というのはもちろん、くどく自分達も聞いていますが、本当に人が減るということは、我々印刷業はもちろん、全産業にとって、非常に大きな問題であろうかと思います。

我々中小印刷業も何とかして、利益を確保し、そして働き方改革に取り組むということをしていかなければならないと思います。今日まさに、働き方改革関連法というのが成立をしたという話がありましたが、与党の方は、柔軟な働き方が可能になりますと話をしておりました。しかし、

野党の方からは、無制限のいわゆる過労死につながる重要な 悪法だという話になっていましたが、果たしてこれからどの ようになるのかが、逆に心配なところもございます。そして その働き方改革に取り組むことによって、優秀な人材を獲得 するということを、我々も一番力を入れてやっていかなけれ ばならないところではないかなと思います。

特に、ダイバーシティの推進とか、ワークライフバランスの取り組み、そして CSR。会社、企業としてやることは、

まだまだたくさんあろうかと思います。そういった我々の1社1社の取り組みが、全国に広がることによって、今日、作道副会長の方から説明をしていただきます Happy Industry というところへつながっていくのではないかなと思っております。

今日、こうした機会を得て、皆さんもしっかり学んで、それをぜひ社にそして各県に持ち帰り、この協議会を有効に有益なものになりますことを祈念します。

【作道孝行副会長挨拶要旨】 「景気は未だ厳しいが とにかく生き残ること! |

日本の経済もようやく上向いてきたのかなという感覚もありますが、我々

の業界はどうかと考えた時には、まだまだやっぱり実感としては苦しいかなと思います。そうは言っても、とにかく生き残っていかなければならない。これは、そのために何をすべきなのかということを各会社が考える。それを側面からご支援していく組合活動というのを目指して頑張っていただく。今日この協議会において、その辺を見据えて実践していただければと思っております。

それでは会長からのメッセージを読みます。

全印工連事業についてご紹介申し上げます。臼田体制になって3年目を迎え、5月25日の全印工連通常総会、平成30年度の事業計画が承認されました。全印工連は、今後、「Happy Industry 人々の暮らしと彩り 幸せを作る印刷産業」、これをグランドスローガンとして、さまざまな事業に取り組んで参ります。Happy Industry は、今後の産業の向かうべき方向性を共有し、人々の幸せを作り続ける産業を実現する具体的な方策を導き出してまいります。その一つに、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、育児や介護の両立など、働き手のニーズの多様化、長時間労働の是正に向けた生産性の向上など、そういった問題の中、働き甲斐がある人々を惹き付ける印刷産業の確立に向け、プロジェクトチームを立ち上げ、幸せな働き方改革に取り組みます。

この幸せな働き方改革についても、この後、その必要性 について、後ほど池田の方からご説明をさせていただきま す。また昨年から取り組んでいるエコ戦略は、新規プロジェクトにより魅力ある印刷業を組合内外に幅広く周知し、さらにその間もこの印刷関連業との連携を強化すると共に、引き続き 2025 計画の着実な実践に向けた啓発活動に努めてまいります。そして 10 月には、高知県において「2018全日本印刷文化典高知大会」を開催して、組合員の団結と協調を図っていく予定でございます。

一方、官公需対策に関しては、今年度も全日本印刷産業政治連盟を通じて、自由民主党中小印刷産業振興議員連盟との関係性を更に深めます。昨年7月に閣議で決定された平成29年度中小企業者に関する国との基本契約の基本方針、「知的財産権の財産価値について十分留意した契約内容とするよう努めるものとする」という文言が盛り込まれました。

それ以外にも、最低制限価格制度の導入、予定価格の適 切な算出、更には地元優先発注といったことも要望いたし ます。この議連総会には、経済産業省をはじめ、中小企業 庁、総務省などの担当者が列席して、全印工連からの報告 を熱心に聞いていただきました。このように1社では解決 できない課題を前進させることが業界団体の責任、全印工 連の存在意義と自覚して、これからの官公需対策に取り組 んでまいりたいと思っております。最後に、各工組に組合 との連携を通じ、組合全体の叡智を結集させ、組合の本分 たる、個別の企業では解決できない課題に取り組み、各事 業を効果的に融合し、印刷産業の持続的な発展と豊かな社 会を創造する Happy Industry の実現に向け、事業を推 進してまいりますので、全印工連に対する更なるご支援・ ご協力をお願い申しあげてご挨拶とさせていただきます。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうござ います。





【池田常務理事】

『働き方改革の必要性』

常務理事 池田 幸寛氏



今の時代、早く働き方改革って世間で騒いでいるけど、我々印刷業界に落とし込んでいかなければということで、2年間限定でこのプロジェクトチームを私が担当させていただくことになりました。

本日、参議院の本会議で可決成立しました、この働 き方改革関連法。「内容はどうなの」というのは、これ からどんどん落とし込んでいくと思います。月に 100 時間以内の残業にしろ、まあこれだったら何とかなる かなあ。2カ月から半年の平均の残業を80時間以内 にしろ、これも何とかなるのかなあ。でもこれ、非常 に大きいのです。計算すると、年間で120日休みがあ ると仮定、245日は出勤日。1日8時間計算で大体 1,900 時間未満前後なのです。そのうちの半分近くが 残業できるということになります。まだ、ゆとりがあ ると思っていたら実は後々大変なことになるのです。 残業が80時間を超過してできると思っていたら、こ れ残業代ちゃんと払っていますよねと。そういうこと になってくるのです。もしかしてサービス残業あるか もしれないなと思っている方は十分気をつけてくださ い。そこがポイントなのです。働けますよ、だけど働 き方が変わるのです。払わなくてよかった部分がこれ からガンガン払っていくことになるのです。そういう ことになって来るし、今の若い人、残業はありますっ て言うと、皆さん嫌がるのです。そういう時代になっ てきています。

皆さんも「働き方改革」、どうすりゃ良いの、何なの、もちろん残業させても良いのでしょとか言う方もいっぱいおられると思います。昨今、テレビや新聞では聞かない日が無いと思いますが、残業をただ減らすだけでは改革無しですから、売上が下がります。生産性を上げれば良いのかと。それだけじゃあ今度、あまりた効果は出ないでしょう。単体的な問題である分、複合的に考えて効果を生むことを考えるべきだと思します。女性や高齢者を、また外国人を積極的にそれます。女性や高齢者を、また外国人を積極的に雇用すれば良いのかというようなお話もありますではありません。それぞれの企業の特性もあります。

さて、皆さんの会社では、ここ数年、新規雇用が十分に満足されていらっしゃいますでしょうか。十分ではないですね。東京でも今非常に厳しくなっています。これは、やっぱり我々が成長していきたいと思うと、この職種の方だけでいいではない。今までの職種よりもっと上のレベルの人が欲しいと思いますよね。例えば、大学とかの区切りではなくて、自己管理がきちんとできて成長できるような人材が欲しい。目標設定をした上で、きちっと営業成績を出していく人が欲しい。これ理想論ですが、こういう人材を探していくとだんだん狭まっていきます。なぜか、彼らは他にも声がかります。今までも当然のことですが、それがどんど

んそういう状況になってきております。東京でもある程度の社員が200名くらいいる印刷会社も、今までは多少なりとも良かったと。新規応募かけて新卒の、社内順位の中で20人くらいまで順位を決めて、その内のトップ10まで来たら良いと思っていたら、もうそのトップ10以前に、20人以下しか雇用にはならない。そんな現状が現実となっています。

このような状況を背景に、これ大手も中小も問わずに、多くの企業が高度成長期のままの働き方を続けていたら、自社の付加価値を上げる努力もしなかったら、最終的には長時間労働、違法残業、低賃金といった社員の夢ややりがいを抱き働ける環境とは程遠い現実が現在ではないでしょうか。日本の労働総生産性は主要国では最下位です。1位のアメリカと6割違います。

これでは負のスパイラルの真ん中、利益がでない。 社員を新規雇用する余力が無い。現社員で対応する。 その結果、サービス残業、長時間労働、低賃金の労働と、 本当に社員にとっては、他の会社の芝が青く見えてしまいます。こういう状況から抜け出すことを必要として、正のスパイラルに変えていかなければいけない。 それが業績アップにつながって、多様な人材を採用もでき、雇用もでき、そして効率化と生産性の向上、残業ゼロで働きがいのある職場とつながっていくのではないでしょうか。近年のAI、この辺もやはり、印刷業界全体で必要になってくるものも出てくると思います。

AIにおいても、実際今皆様のご企業の中で、それぞれのポジションの人数が本当に正しいのか。営業が足りないのではないか、それとも事務職が多過ぎるのではないか。現場の人が、もしかしたら多過ぎるのではないか。日頃は思っていても、きちっと今後は対応になりません。この印刷業における待ったなしのこの働き方改革を、我々にといるですし、社員もそうですし、社員もそうですし、業者様、全部なのです。ステークホルダーなんて言いますけれども、この全てを改革した中で、幸せにしていくためにはライバルは他の産業です、雇用の流出を避けてていたのにはライバルは他の産業です、雇用の流出を避けてていいるが、迎え入れる、そういうふうにしていきたいなと思っております。

今後、この対策に全印工連は必要なセミナーを開催 していきます。ご期待ください。



広島県工組では「平成30年7月西日本豪雨災害」に関する 災害義援金をお願いしております

このたび今までかってない大雨が続き、未曾有の 被害を生んだ「平成30年7月西日本豪雨災害」は 8府県に亘り大きな被害をもたらし、当広島県印刷 工業組合組合員に於いても被災された方が多くおら れ、今も熱い中災害復旧に努めておられます。

つきましては、右記のとおり広島県工組としまし て被害に遭われた方々に少しでも支援ができるよ う、災害義援金を募集することとしましたので、組 合員の皆さまのご理解・ご支援を賜りますようよろ しくお願い申しあげます。

1. 「中国新聞社会事業団」に一括送金し、日本赤十 字社などを通じて被災者のために使われます。

2. 募集要項

(1) 義援金: 1 □ 1,000円(何□でも結構です)

(2) 送付先(下記口座へ振込でお願いします)

①銀行名:広島銀行 本川支店

②□座名:広島県印刷工業組合災害対策窓□

代表者 中本 俊之

③口座番号:(普通) No 3462038

3. 募集期間: 平成30年7月17日~8月6日(月)

お問い合わせ:広島県印刷工業組合 事務局 Tel 082-293-0906

「2018 印刷産業夢メッセ」

第1・2回2018印刷産業夢メッセ組織委員会開催

6月21日(木)、第1回2018印刷産業夢メッセ組 織委員会が、7月19日(木)午後1時30分より広島 印刷会館会議室に於いて2回目の組織委員会が開催さ れた。

小下委員長から「今日は第1回目の組織委員会です が、開催まであと4カ月です。まだ皆さんといろいろ と決めていかなければならないことがあります。いい 案が出ればそれを参考に決めていきたいと思いますの でご協力をお願いします。ぜひ良い夢メッセだったと 言われるように頑張りましょう」と挨拶があり議事に 入った。

会議ではソリューションセミナーと広告の申込み状 況と、会場が変わる今年の開催についていろいろな案 件について議論された。

【議題】 [2018 印刷産業夢メッセ]

- (1) 出展・広告依頼の進捗状況
- (2) 入場券の料金検討について
 - ・合わせてチケットの様式をどうするか検討
 - ・変更する箇所の確認(セミナーの時間・休憩時間、 座学、懇親会等)
 - ●入場料…2日間通し券10,000円(1日券は6,000円)
 - ●当初申込み数と実際の入場者数の乖離が大きい (申し込み時に決まらないときは欠席で記入。欠席の 方も当日選定し受講可。但し指定受講者が優先)
 - ●午後の開始時間を 12 時 45 分から(80 分講義、20 分座学)
 - ●座学の方法 セミナー会場の前にテーブルを置き、飲み物 (無料) も用意する。
 - ●昼食の食事券は廃止

(3) その他

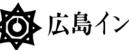
FUJ¦FILM Value from Innovation

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

中国支店 〒730-0045 広島市中区鶴見町4番22号 MKD1ビル 082(249)7155

ホームページ http://ffqs.fujifilm.co.jp

各種印刷インキ製造 機械 その他 印刷関連機材全般



▶広島インキ製造株式会社

広島市西区南観音町18-19 TEL (082) 2 3 2-6 4 4 1 (代) FAX (082) 232-6 4 4 5

【新常任理事紹介】

ー 先を見据えて ー

明生印刷有限会社 代表取締役 青木 博



今年度より広島県印刷工業組合の常任理事を仰せつ かりました青木博と申します。

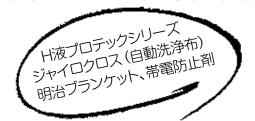
この度の「平成30年7月豪雨」におきましては広範囲にわたり甚大な被害が発生しました。組合員の中からも多くの被災報告があがってきております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに一刻も早い復興を願っております。弊社は広島市中区舟入川口町に位置しておりまして幸いなことに被害は免れましたが、ただ何回も舟入・江波地区に避難指示が出ていたにも拘らず、さほど気にせずやり過ごしていたことに自身の意識レベルの低さを痛感し反省している次第です。

さて私は、理事のお仕事をさせていただいてから早いもので10年以上が経過しました。振り返ってみますと自分が組合にお役に立つことができているんだろうかと自問自答することが多くありまして、さらに今年度から常任という大役を受けることになってちゃんとこなせるかどうか不安でいっぱいでございます。これまでとは立場が変わるんだよと理解しつつ、諸先輩方にしっかりと指南を受けながら自分にできることを見極め、微力ながら頑張っていきたいと思います。すでに何回か会議にも出席させていただきましたが、とても責任の重い仕事が多いのを肌で感じております。

また、委員会におきましては組織共済委員会に属し 石井委員長のもと組織対策、共済事業運営、広報事業 の3本柱を中心に活動しております。各種委員会の中 でも組合員の皆さんと直接お会いし、ご協力をお願い することの多い委員会ですのでその節には何卒よろし くお願いいたします。昨年は小下前委員長とともに共 済推進のお願いと現在の支部の状況把握のために、府 中・福山・芸備・備北支部の支部長さんを訪問させて いただきました。突然のことにもかかわらず皆さん快 くお出迎えいただき、応対してくださいまして本当に ありがとうございました。またお聞きしたこともそれ ぞれの支部によって違うところがあるんだなというこ ともわかりましたのでとても参考になりました。私自 身、中支部の支部長も兼務しているものですからお聞 きしたことを、うまく支部にフィードバックしていく ことができればいいなと思います。ただ、中支部長と 申しましても支部会員の皆様に助けられながらなんと かやっているという段階ですので、自分の役割は組合 と支部会をつなぐパイプ役と考え、いつの間にか世代 も交代しつつある中で、新しい意見を発見し掘り起こ しそれが将来へ反映できるような手助けができれば何 か掴めるに違いないという考えでおります。

いずれにしましても、時代はどんどん変化しており、スピードもかなり上がってきています。SNS にしても少し前までは若い子たちがやっていたフェイスブックが今ではおじさん、おばさんがやるものと認識されている方が多いと聞きます。来年、元号も変わり新しい時代となります。"昭和"という言葉が古めかしい象徴であったようにもうじき"平成"がそうなります。その変化にも対応すべく我々の業界も盛り上げていく必要があるのではないでしょうか。その時の組合の役目も当然重要となろうかと思いますので、中本理事長をはじめとした組合員の皆様と一緒に進んでいきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

東京インキの印刷関連機材。



広島営業所/〒732-0827 広島市南区稲荷町5-18 三共稲荷町ビル8F TEL(082)568-4400 本社営業部/〒114-0012 東京都北区王子1-12-4 TEL(03)5902-7625 全国販売網/札幌・静岡・名古屋・大阪・高松・福岡

TOYOIN(GROUP

私たち東洋インキグループは、

『目に見える科学』で人々の生活に貢献いたします。

東洋インキ中四国株式会社

〒730-0015 広島市中区橋本町10-6 広島NSビル11階 Tel: 082-511-3411 Fax: 082-511-1601 www.toyoinkgroup.com

Visible Science for Life

福山支部だより

福山支部価値組委員会7月例会

7月23日(月)、福山支部価値組委員会の7月(第184回)例会を、今回は【激動の時代に、印刷会社の後継者として奮闘した10年を振り返る-三和綜合印刷近江社長のお話-】というタイトルでトークセッションとして開催しました。

大学を卒業してからのまさかのお話。自社に帰ってくる前のお話。帰ってきてからの先代とのエピソード。社長に就任されてからのこと。社長に就任されてから振り返って感じること。価値組の仲間として、いつも身近にいる三和綜合印刷(株)の近江社長の、知ってるようで知らなかったいろんなお話やエピソードに、どんどん惹きこまれていった1時間半でした。

近江さんの飾らない等身大のお話を聴かせていただいて、さて自分だったらどうなんだろう。まだまだやれる! もっとやんなきゃ!そんな風に感じました。一言一言が 胸に突き刺さって、自分の背中を押してくれてるようで した。同じように感じた参加者の方、多かったんじゃな いでしょうか。今やれることをやろう。精一杯やろう。 素直になろう。誤魔化さないで、妥協なく楽しもう。そ

んな事を感じています。 本当にありがとうござい ました。前を向いて頑張 ります。ありがとうござ いました。(占部)





事務局だより

◎組合のうごき

	12⊟	第2回常任理事会	印刷会館
<i>7</i> 月	19⊟	2018印刷産業夢メッセ 第2回組織委員会開催	印刷会館
	20⊟	常任役員会	東京
8	10⊟	第3回常任・支部長会・第2回拡大理事会、 常設委員会合同開催	広島 ガーデンパレス
月	25⊟	全青協正副議長会	長 野
	31⊟	環境労務委員会	弘前

9月は「印刷の月」 世間に印刷業のアピールを!

広島市でのメモ帳配布は、9月7日(金)午後5時00分から、八丁堀元天満屋付近において、「印刷の月」街頭アピール活動として、中本理事長、各支部長、青年部、事務局等が石井組織共済委員長統括のもと実施します。

まだまだ暑い時期ですが時間は約1時間程度です。是非多くの方の参加をお待ちしております。福山支部でも、9月19日(水)にJR福山駅前にて午後5時30分よりメモ帳配布を行いますので多くの方の参加をお願いします。

アオイ福原株式会社

広島本店 〒733-0833 広島市西区商工センター6-5-16

Tel. 082-278-7511 Fax. 082-277-6960

尾道本店 〒722-0051 尾道市東尾道10-35

Tel. 0848-20-3366 Fax. 0848-20-3363

福山支店 〒721-0952 福山市曙町2-10-18

Tel. 084-920-2233 Fax. 084-920-2232